

# ハマの屋台PJ

## Hama no Yatai



## 移動式屋台がまちの中につくる空間の可能性をさぐる

### Discovering the possibilities of spaces created by mobile stalls

(背景・目的) まちの賑わいを生み出すツール「ほどわごん」の提案以来、活動地域の需要や状況に合わせた移動式屋台の制作と運用を行ってきました。今年度は、過去の活動を振り返りつつ、感染症による変化もふまえた“移動式屋台の可能性”について、各メンバーの知見・アイデア・想いを共有することを重視しました。

(活動内容の概要) 7人の新メンバーを迎えたことを契機に、屋台の歴史や可能性について調査・議論をしたり、それぞれの関心や想いを共有したりすることに例年より時間をかけました。それを踏まえ、現在はチームを編成し、常盤台地区および関内・関外地区の方々と定期的に会議をし、地域の分析や来年度に向けた活動の計画を進めています。一方、これまでに制作した屋台にも継続して関わりました。「みなまきわごん」が地域の方々の展示やWSの場として活用されつつある南万騎が原エリアでは、一箱古本市の運営サポートとして会場の空間設計・広報・小冊子づくりなどを担うとともに、「感染症対策ブース」として屋台を活用してもらいました。昨年度制作した「関内わごん」は、新たに千葉県御宿町に活動の場を持つこととなり、現地の方々や他大学の学生さんとの会議を通して、過去の活用事例を共有したり、新たな活用方法への挑戦を企画したりしています。

(今後の可能性) 屋台の「運用」に関しては、地域の方々が新しいことに挑戦したり、地域に新しい機能やイベントが生まれやすくなるきっかけとなれるよう、引き続きブラッシュアップ、意見交換、PRなどに力を入れていきます。また、来年度こそは「制作」ができることを期待し、現在地域の方々とつくっているアイデアをより具体的なものにしていきます。

■学生：17名（氏名 若原歩花、小野寺陽香、高橋健、西尾昂紀、坂口綾、的羽佑菜、御園茜、東由佳、江藤克、田辺彩、樋口健太、三浦萌夕、糸原爽、奥村真妃、齋藤佳奈、平原裕大、矢崎駿太 / 担当教員：野原卓准教授）

■連携・協力：常盤台地区連合町内会、みなまきラボ、ゆたかなイばしょ運営委員会

■活動地域：常盤台地区、関内・関外エリア、相鉄線南万騎が原駅周辺、御宿町など

■サイト：<https://www.facebook.com/hamanoyatai/>